

平成 29 年度モニタリング調査について (ID 21:携帯トイレ)

屋久島山岳部では、平成 22 年度から携帯トイレの導入を開始して普及啓発を図るとともに、その定着状況の把握に努めてきた。

平成 22 年度に 30%弱であったグループごとの携帯トイレ携行率は、平成 27 年度には 80%弱まで上昇し、登山者の理解が進んだことがうかがえるようになった。

しかしながら、携帯トイレの使用状況については実態を把握できていないため、昨年度からは携帯トイレの携行率調査とは別に、使用率の調査も行った。

1. 調査内容

(1) 実施場所 淀川登山口



(2) 実施日時

5月	2、5、6、21日	15:00～17:30
9月	23、24日	15:30～18:00
10月	9日	15:00～17:30
11月	4、25日	15:00～17:30

計 9日間

(3) 実施方法

登山口で、登山者が下山する時間帯に調査員を配置し、下山した登山者にアンケート調査を行った。

実施日時は、過去の登山者カウンターデータを参照して下山者が多いと

見込まれる日、時間を選定した。(ただし、今年度は夏季の台風接近・上陸により調査日変更を強いられた)

(4) アンケート記載事項

- ・アンケート実施時間
- ・人数(男女別。ガイド除く)
- ・居住地域
- ・携帯トイレ携行数
- ・使用した携帯トイレブース
- ・携帯トイレを携帯していたが使用しなかった場合の理由
- ・ガイドの有無
- ・年齢層
- ・登山コース、日数
- ・携帯トイレ使用数

2. 実施結果

81グループにアンケートを行い、59グループが携帯トイレを携行していた。そのうち、14グループが携帯トイレを使用していた。

携行率は、下山時調査結果のみでも70%を超え、多くのグループが携帯トイレを携行していた。

全グループに占める携帯トイレ使用グループの割合は、17.28%と低く、携帯トイレ携行グループ中、使用したグループの割合も23.74%と低かった。

	平成28年度	平成29年度
調査日数	9日間	9日間
調査グループ数	113グループ (294人)	81グループ (221人)
携帯トイレ携行グループ数	83グループ°	59グループ°
携帯トイレ使用グループ数	29グループ°	14グループ°
下山時調査での携行率 (携行G/全G×100)	73.45%	72.84%
使用率① (使用G/全G×100)	25.66%	17.28%
使用率② (使用G/携行G×100)	34.94%	23.73%

次に、日帰り登山者と山中泊登山者別の集計結果を示す。

日帰り登山者では、携行率 63.64%。全グループに占める携帯トイレ使用グループの割合は 9.09%で、携帯トイレ携行グループ中、使用したグループの割合は 14.29%だった。

山中泊登山者では、携行率 92.31%。全グループに占める携帯トイレ使用グループの割合は 34.62%で、携帯トイレ携行グループ中、使用したグループの割合は 37.50%だった。

日帰り登山者、山中泊登山者ともに、携帯トイレを持っているのに使っていない状況は昨年度と同様だったが、日帰り登山者の携行率・使用率の低下と山中泊登山者の携行率・使用率の増加が見られた。

	日帰り	山中泊
調査グループ数	55グループ (95グループ)	26グループ (18グループ)
携帯トイレ携行グループ数	35グループ (71グループ)	24グループ (12グループ)
携帯トイレ使用グループ数	5グループ (27グループ)	9グループ (2グループ)
下山時調査での携行率 (携行G/全Gx100)	63.64% (74.74%)	92.31% (66.67%)
使用率① (使用G/全Gx100)	9.09% (28.42%)	34.62% (11.11%)
使用率② (使用G/携行Gx100)	14.29% (38.03%)	37.50% (16.67%)

下段カッコ内はH28年度調査結果

使用率把握とともに、携帯トイレを持っているのに使わなかった理由についても把握に努めた。41件の回答記入があり、「小屋のトイレで足りた」という内容のものが半数を占めた。

回答内容	平成28年度		平成29年度	
	回答数	%	回答数	%
トイレに行かなかった	11	16.42	7	17.07
小屋で足りた	49	73.13	21	51.22
我慢した	5	7.46	2	4.88
汗をかいたため	1	1.49		
途中で下山したため	1	1.49		
使いたくなかった			1	2.44
必要なかった			9	21.95
大丈夫			1	2.44
計	67		41	